

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 中学部

『「宝探しゲーム」で、棚の上下から〇番目を探して、宝のかぎを見つけよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・中学部2年生 女子
- ・10までの数の三者関係をおおよそ理解している。
- ・2学期に前後から〇番目を学習して習得できている。
- ・書く学習(プリントなど)を好むが、間違えたときや解答に時間を要する課題のとき、床に寝たり、「しない」と言ったりして、課題に取り組むことに時間がかかる。

そこで本題材では以下の望む姿を設定した。

→**上下について数えていく方向がわかり、最後まで続けて学習に取り組む**

2. 教材の概要 『宝探しゲーム』

- ・半立体の5段の棚から「上(下)から〇番目」の問いを見聞きし、答えの段を開けて宝箱の鍵を見つける。
- ・見つけた鍵で宝箱を開け、宝(ドレスなど身につけるもの)を獲得して自分の写真カードに追加していく。

3. 授業のポイント

ポイント1 自分から学習に取り組み、最後まで続けて行うための教具の工夫

【自分から学習に取り組むために、どうすればよいか？】



(写真1)

・棚の中や周りの景色など生徒が好きなものや興味のあるもののイラストにし、間違え学習意欲が低下したときなどに、好きなライオンが待っていると誘ったり上(下)から〇番目に何があるのかクイズを出したりすることで、自分から課題に取り組むことができるようにした。(写真1)



(写真2)



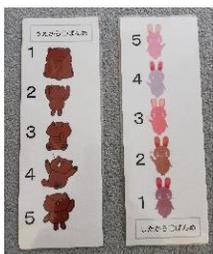
(写真3)

・正しい棚の扉にある鍵を宝箱の穴にさしこんで開き(写真2)、何が出てくるか期待したり、宝を獲得できた楽しさや面白さを感じ、達成感を感じたりすることで、最後まで続けて取り組むことができるようにした。(写真3)

授業構想チェックシート 意欲チェック 1. 教材について⑤⑥⑧

ポイント2 最後まで続けて行うための教具の工夫

【最後まで続けて行うために、どうすればよいか？】



・学習のはじめの時間に教師と使って答えたり、やわからないときに自分で見て答えたりすることができるようにするために、展開や発展の場面で、「上(下)から何番目カード」を見て、上(下)を基準にして数えたり、数字を見て確認したりするようにした。また、学習の半ばから終わりの時間では、答えた後にプリントのイラストや半具体物と「上(下)から何番目カード」を見比べて、自分で正答であるかを確認めたりできるようにした。

授業構想チェックシート 意欲チェック 5. 学習環境:教具について⑪